



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第10週報 No. 1993 2017年(平成29年) 9月15日 第1993回 例会記録 9月22日発行

### 本日〈9月22日〉のプログラム

- ◆齊唱 「手に手つないで」「友達になろう」
- ◆献立 松茸御膳
- ◆卓話 「消防職員の自助のカタチ」  
横浜市神奈川消防署長 武笠 基和 様  
(紹介者 角田 伯雄 会員)

« 本日のBGM »  
アルバム「大人ピアノカフェ」／村上ゆき より



PHOTO クラブ会報委員会

**司会** 金森 欣一 副幹事

**誕生日祝** 濱谷 高弘 会員(9月20日)

**点鐘** 矢野 修二 会長

**結婚記念日祝** 茂木 知子 会員(9月15日)  
鴻 義久 会員(9月17日)

**齊唱** 「それでこそロータリー」「友達になろう」  
ソングリーダー：加野 亮一 会員



**四つのテスト** 赤堀 和人 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 鈴木 尚広 様 (ゲストスピーカー)  
千村 芳久 様 (スピーカー同行者)  
橋本 豊 様 (スピーカー同行者)  
参鍋 真 様 (地区大会登録委員長)

2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：  
変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会長	矢野 修二	会計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副会計	飯田 泰之
副会長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副会長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹事	白鳥 厚夫	副 S A A	森永 健
副幹事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

## 会長報告 矢野 修二 会長

～計報～

吉田隆男会員のご母堂(キミ)様が、平成29年9月8日にご逝去なさいました。(享年94歳)ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- ・9月度定例理事会報告
- ・米山記念奨学会より角田伯雄会員(3回)、山本登会員(11回)に米山功労者の感謝状が届いておりまので贈呈します。また、当クラブの米山特別寄付累計額が6100万円を超えたので、第61回米山功労クラブの感謝状を頂きました。



山本 登 会員（第11回米山功労者）



角田 伯雄 会員（第3回米山功労者）

## 幹事報告 白鳥 厚夫 幹事

- ・次週、例会終了後にガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会を開催致します。各委員会委員長の方で、レポートの提出がまだの方は本日が締め切りとなっております。よろしくお願ひ致します。
- ・新しい会員名簿の校正が出来上がりましたので、回覧致します。ご確認をお願い致します。

## 委員会報告

2015-16年度会長 江森 国一 会員

先日の直前会長・幹事慰労会の写真パネルが出来上りました

たので、記念品として植田直前会長と小山直前幹事にお渡し致します。



## スマイルボックス 茂木 知子 SAA

横浜西RC 参鍋 真様 本年度、地区大会及び関連行事への皆様のご参加を楽しみにお待ち申し上げております。よろしくお願い致します。

鴻 義久君 結婚祝い、ありがとうございます。

矢野修二君 ①吉田会員のご母堂様のご逝去にたいし、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。②地区大会登録委員長 参鍋真様、本日はよろしくお願ひ致します。③鈴木尚広様、本日の卓話、楽しみにしております。

山本 登君 秋になった？

河野明光君 先日の直前会長・幹事慰労会では、江森さん、朝日さん、大変ご尽力頂き、盛大な会でした。ご苦労様でした。

江森国一君 ①直前会長・幹事慰労会には、会員皆様にご協力頂き、感謝申し上げます。②吉田会員のご母堂様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

植田清司君 先日は、直前会長・幹事の慰労会を盛大に開催して頂きまして、ありがとうございました。

白鳥厚夫君 鈴木尚広様、本日の卓話、楽しみしております。

佐藤勝彦君 鈴木様、本日の卓話、楽しみにしています。どうぞよろしくお願ひ致します。

小山市康君 先週金曜日は、江森さん、朝日さんをはじめ皆様、慰労会を開催して頂き、ありがとうございました。感謝致します。

茂木知子さん 結婚記念日のお祝い、ありがとうございました。夫婦関係を、よく「空気のようである」と形容されます。私たちの空気は乾燥してカラカラ。おまけに発火点の低いガスが混入しており、わずかな火花でも大爆発が起こります。

9月15日	11件	41,000円
本年度累計		373,180円

**出席報告**

山田 正憲 出席委員長

会員総数	51名	(33+18)名	
出席会員数	41名	(27+14)名	
出席率		87.23%	
ゲスト	4名	ビジター	
前回補正後	89.36%	前々回補正後	91.30%

**「プロの世界で成功するには」**

野球解説者 鈴木 尚広 様

(紹介者 佐藤 勝彦 会員)

**《卓話者プロフィール》**

鈴木尚広氏は、福島県立相馬高等学校の野球部に在籍中、その並外れた走力が読売ジャイアンツのスカウトの目にとまり、1996年のドラフトで4位指名を受けてジャイアンツに入団する。

入団後は故障しやすい体質のため離脱を繰り返したが、オフシーズンには年俸の半額近い費用で個人トレーナーと契約して食生活も変えた。

2002年に就任した原監督の下、「代走のスペシャリスト」として一軍に上がる。その後、外野手として出場機会も増え、2008年にはゴールデングラブ賞を受賞、2009年には、ジャイアンツの日本一に貢献した。2016年に引退するまでに通算228盗塁を記録、これは柴田勲の579盗塁、松本匡史の342盗塁に次いで球団史上歴代3位、また盗塁成功率82.9%は200盗塁以上を記録した選手のなかで歴代トップである。

引退後、2017年からテレビ朝日・日テレジータス・TBSラジオ・BS-TBS・TBSチャンネル・DAZN・AbemaTVの野球解説者として活躍中。

**■主な通算成績**

試合数：1130

安打数：355

本塁打：10

打 率：.265 長打率：.335

出塁率：.307 盗塁数：228

**ロータリーニュース****砂漠を緑に**

砂防ダムが農家の収入を増やし、若者の流出に変化をもたらす

少し前まで、ラジャスタン州（インド）のシカー地区、アルワ地区の若者は、仕事を求めて都会に出ていました。降雨量が不安定なため農業用水が不足し、家族を養うために農業を諦めるほかなかったためです。

「244メートルの深さの井戸でも水を得るのが困難だった」と、村の老人ゴバーダンさんは言います。「灌漑用水をモンスーンの水だけに頼っていたら、水不足になり、若者も仕事を求めて大都市へいってきました」

今では、ロータリーの水プロジェクトのおかげで農業が再び黒字となり、若者が村に戻ってきました。砂防ダムをつくり、地面に浸透した雨水が流れ出さないようにすることで収穫が可能になりました。

農家は、この水を利用して井戸の水を確保します。砂防ダムは、一般的なダムのように川をせき止めるものとは異なり、貴重な雨水の流出を防ぐためのものです。

「以前の村は年寄りだけでしたが、今は若い人たちが戻ってきました」と、プロジェクト受益者の一人となったゴバーダンさんは話します。

**貯水池**

Rotary India Water Conservation Trust（ロータリー・インド水保全トラスト）は、PHD農村開発財團と協力し、2005年から2017年の間に82の砂防ダムを建設。これによって、250,000人を超える地域住民に恩恵をもたらしました。

この活動では、ロータリー財團管理委員で、上記トラストの名誉会長を務めるスシリ・グブタ氏が中心となってプログラムを推進しました。

侵食を防ぐダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートルです。その集水域は3~7キロに渡ります。

近くの丘から水が集水域へと流れ、そこで約6~8ヶ月留まります。水がひくと泥と豊かな鉱物が残るため、次のモンスーンが始まる前にもう一回収穫でき、現金収入を得ることが可能になりました。これらのうち20カ所のダムでは常に水が蓄えられており、魚もとることができます。

ゴバーダンさんは、誇らしげに周辺の緑を指差します。

「水が不足していた時は、粟と少しの小麦しか生産できませんでした。今では粟、小麦、野菜（オクラ・トマト・緑の唐辛子など）が収穫できます。井戸の水位も2.4メートルほど高くなりました」「砂防ダムのおかげで水を手に入れ、農地が劇的に拡大し、収入も激増した」と話すのは、PHD財團のCEO、アツル・リシさんです。

「収入が100~200倍になった農家もある」と、ムクティ・ナレイン・ラルさんは話します。

「藁葺き屋根の家が良い素材でできたプカハウスに変わり、ラクダが牛に変わり、畑を耕すトラクターもあります」

ゴバーダンさんの家に集まつた農夫の一人によると、仕事を求めて都会に出た5人の息子が皆、村に戻ってきたそうです。水は豊富にあり、穀物も沢山とれる。資金を貯めて最近、約8,000ドル（約88万8千円）のトラクターを購入したそうです。砂防ダムは村人が責任をもって管理しています。また、それぞれのダムを監督する委員会が設置され、維持費となる資金も銀行で管理しています。

「ある委員会では、ダムの幅を拡張する計画を立てている」と、地元のIndraprastha-Okhlaロータリークラブ会員で、水保全トラストのプロジェクト責任者をしているアツル・デブさんは話します。「緑があることからも分かるように、砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができるほどの水を得ることができました」

国境を越えてつながる

2014年11月、デブさんは、Brumath-Truchtersheim-Kochersbergロータリークラブ（フランス）元会長のフィリペ・ダンゲルサーさんと一緒に、完成した砂防ダムの落成式と、新たにダム建設の起工式に出席しました。ダンゲルサーさんは、年に2回、フランスやドイツのロータリークラブからの寄付金をもってインドを訪れます。これまでに24件のダム建設に資金を投じました。今回は3万ユーロ（約355万円）で、4～5つのダムを作る予定です。ダム一つのコストは12,000ドル（約133万円）で、これに地元の有志が集めた資金が加わります。

ダンゲルサーさんとインドのつながりは、シカゴで行われた2005年ロータリー国際大会に遡ります。第3010地区（現在の第3011地区）のパストガバナー、ランジャン・ディングラ氏がダンゲルサーさんをインドに招待したのです。その後ダンゲルサーさんは、ある農夫から「神が私たちを誕生させ、彼が私たちに命をくれた」と言われるほど熱心な協力者となりました。これらのダム建設プロジェクトでは、今日までに、ロシアや米国のロータリークラブのほか、教会からも寄付金が寄せられています。

「砂防ダムのおかげで動物、鳥、植物も生きることができる  
ほどの水を得ることができました」



砂防ダムの高さは4.3メートル、基盤の深さは2.1メートル、集水域は幅3~7キロです

ロータリーニュース

我が街「神奈川」散策（第5回）

クラブ全報委員会

能満寺

能満寺は、海運山と号し真言宗に属します。能満寺は鎌倉時代の創立とされています。その由来は、内海新四郎光善というこの地の漁師が海中から虚空蔵菩薩を拾い上げ、これを祀ったと伝えられています。

次回〈9月29日〉の予定

テーマ「未定」

川崎マリーンロータリークラブ 米山撲学生 陳 成姫 様  
(紹介者 田口健太郎 会員)

例会 3 回

8月度出席報告

		名譽会員			出席率算出除外会員						
会員	マイクアップ後	ホームクラブ	会員	マイクアップ後	ホームクラブ	会員	マイクアップ後	ホームクラブ	会員	マイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	33	33	岡部雄一郎	100	100	角田 伯雄	100	100	横溝 亘	100	66
赤堀 和人	133	100	加藤 仁昭	100	100	友添 辰哉	133	66	横山 博行	100	66
朝日 達夫	100	100	金森 欣一	100	100	長井 章	100	100	吉田 隆男	33	33
天野 公史	133	100	加野 亮一	133	100	中野 真理	100	100	吉橋佐千男	0	0
雨宮 和則	0	0	河野 明光	133	100	西山 潔	100	100	我妻 隆邦	0	0
飯田 泰之	100	100	小山 市康	133	100	馬場 佳子	100	100	渡邊 淳	133	100
石川 正三	66	66	佐藤 勝彦	133	100	古澤 一憲	100	100	富居 利貞	33	33
伊東 英紀	66	33	澁谷 高弘	100	100	茂木 知子	100	66			
岩澤 利雄	100	100	白井 康夫	133	66	森永 健	100	100			
植田 清司	100	100	白鳥 厚夫	166	100	矢野 修二	200	100			
梅津 明浩	33	33	須永 久一	66	66	山木 幹夫	100	100			
江森 国一	100	100	田口健太郎	100	100	山崎 善也	33	33			
大久保由美子	33	33	田中龍太郎	133	100	山田 正憲	133	100			
鴻 義久	0	0	田邊 正彦	66	66	山本 登	100	100	月平均 91.81%		
大橋 秀行	0	0	月山 勇	100	100	山本 芳弘	100	100			